

学びや

タイムスリップ

大正時代から昭和時代初期にかけて、障害のある児童のために京都市の小学校に設置された「特別学級」は、第2次世界大戦下で戦時色が強まる1944年度後半から、順次閉鎖されました。

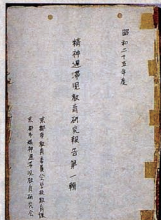
戦後に京都市最初の

京の取り組み、全国が注目

「特別学級」が設置されたのは、1948年4月、されませす(写真①)。
連合国軍総司令部(GH Q)占領下の実験学校(Tryout School)を中心に、各地の「特別学級」における教育実践報告がなされ、生級「担任上村薫によって、三木を中心として、木を中心として、特

高倉小に統合)でした。かしていく取り組みが始められ、1950年度末までに、のが、「精神遅滞児教育」(牧書店、1950年)が出版された。この書籍の発行日をもつて、三木を中心として、特

賀県の近江学園におもむき、田村一二や糸賀一雄の講習を受けています。

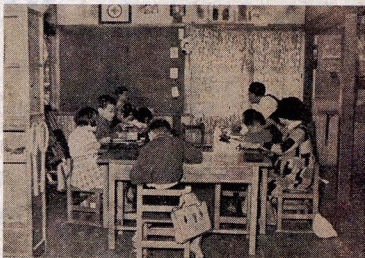


盟が結成されました。この書籍のタイトルにある「精神遅滞」は、当時の医学用語です(実態がさまざまなので、1990年代からは「知的障

害)が用いられるようになります。京都でも、1949年には「特別学級」と並んで「精神遅滞児学級」という名称が用

いられるようになり、そこで開催中の企画展「京都の教員組織として、京都における特別支援教育のあゆみ」で展示されています(3月29日まで、水曜

①写真1、おけいこの時間(1953年)嵯峨小。補のほる編「たんぼほ学級」より
②写真2、京都市精神遅滞児教育研究会の機関誌「精神遅滞児教育研究報告」第一集(1950年)



この研究会は、戦前か休館)。